



ホームフィールドの天ヶ瀬森林公園
(活動拠点のハウスと広場)



天ヶ瀬森林公園遊歩道周辺の整備



森林ボランティア1日体験

フォレストスターうじは、京都府宇治市の天ヶ瀬森林公園をメインフィールドに、平成9年から息の長い活動を続けている森林ボランティア団体です。

公園内にくわつもある遊歩道周辺の雑木林などの整備を始め、地域のフェスティバルへの参加を通じて森林の大切さを伝えるなど、幅広い活動を行っています。

フォレストスターうじの結成

森林ボランティア団体が作られるきっかけはいろいろありますが、フォレストスターうじは行政の呼びかけで結成された組織です。平成9年度京都府の「交流の森林づくり事業」の補助を受け、市民の参加による健全な森づくりを図る

天ヶ瀬森林公園をホームフィールドに

フォレストスターうじでは、毎月第3日曜日に定例活動を行っています。ホームフィールドである天ヶ瀬森林公園は宇治市の市有林であり、市民に保健休養の

ために、宇治市が市民ボランティア会員を募集しました。産業構造の転換により放置され荒れた森林に手を入れ、健全な森林を取り戻そうという目的で呼びかけられたボランティアでしたが、定員50名に対して約200名もの応募がありました。市民の間にも自然とふれあいたいという欲求が高まっており、行政と市民の両者がマッチして、フォレストスターうじの活動が始まることになりました。

平成13年度からは宇治市が事務局から撤退し、会員みんなで自主運営しています。



森林ボランティア初心者を対象に安全講習会



間伐材で製作した木工作品
(宇治橋通りまるごと文化フェスタ)



移動式炭化炉による炭焼き

場を提供したり、生活環境を良好に保つための「生活環境保全林」として活用されたりしています。約90ヘクタールの広大な山内の約35ヘクタールに遊歩道や展望施設などが設置されています。

フォレスターうじは、宇治市と協定を結び、天ヶ瀬森林公園の遊歩道周辺のスギ、ヒノキの人工林、雑木林、松林、竹林を整備しています。今までに5本の遊歩道や野鳥観察小屋前広場、榎尾山山頂展望台周辺に手をつけ、道周辺の「線」から道と道の間の「面」にまで整備の範囲を広げてきました。

また、良好な里山景観を残す宇治市白川地区の私有林でも、所有者と協定を結び、平成15年から平成21年まで里山再生を指して整備を行いました。

間伐材を楽しく活用

フォレスターうじでは、森林整備によって出る間伐材の活用にも積極的に取り組んでいます。

毎年コナラの間伐材約50、60本にシイタケの植菌をし、収穫しています。また、京都府山城広域振興局や宇治市森林組合等の指導を受け、ドラム缶を改良した窯や移動式炭化炉で、広葉樹や竹の間伐材を使った炭焼きも行なっています。

丸太ベンチは、当初は天ヶ瀬森林公園の整備で出たスギ、ヒノキの間伐材の皮を剥ぎ、そのまま2、3本をかすがいで留めて、さらに丸太の台に留めるといった簡単なものでしたが、その後、改良を重ね「ほっこりいす」として市内の商店街、公共施設、教育施設に要請されて設置するなど、地域の人々に喜ばれています。

小枝を利用したクラフト製作も好評で、定例活動に組み入れたり、夏休みに子どもたちに指導したりしています。

森林の大切さを伝えるために

森林の大切さ、自然とふれあう活動の楽しさをもっと多くの人に知ってもらいたい。そんな思いから、フォレスターうじでは1日体験ボランティアの受け入れを行なっています。平成17年からは地元中学校のボランティア体験学習の一環として、森林ボランティアが取り上げられるようになりました。

また、「宇治橋通り彩りフェスタ」など地域のイベントにも参加し、丸太切り体験、木工教室などを通して、森林への理解を得るとともに、フォレスターうじの活動を紹介しています。イベントでは実際に木のぬくもりや香りにふれることができることあつて、会のブースは参加者にとっても人気があります。

フォレスターうじ

- 会員数 会員47名 後援会員16名 合計63名(平成22年11月現在)
- 森づくり活動フィールド 京都府宇治市榎島町(まきしまちょう)天ヶ瀬森林公園
- 活動日 毎月第3日曜日 9:30~15:30
- ホームページ <http://forester-uji.a.la9.jp/>